

洛和会音羽病院

地域連携ニュース

4

〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町2 TEL 075 (593) 4111(代) <https://rakuwa-otowa.jp/>

2026 April

救急医療を未来へつなぐ 音羽病院の挑戦

専門分野

救急医学、集中治療医学、外傷学、腹部救急医学、血栓止血学（血液凝固異常）

専門医認定・資格など

日本救急医学会 救急科専門医/指導医/功労会員、日本集中治療医学会 集中治療科専門医/評議員
 日本外傷学会 外傷専門医/功労会員、日本腹部救急医学会 認定医/教育医/評議員
 日本Acute Care Surgery学会 認定外科医/評議員、日本血栓止血学会 血栓止血認定医
 臨床研修指導医、日本DMAT 統括隊員



洛和会音羽病院 救急集中治療センター
 特別顧問（救急医療担当）兼務

いしくら ひろやす
 所長 **石倉 宏恭**

洛和会音羽病院は、平成20（2008）年に導入した
 病院救急車の老朽化（走行距離10万km）に伴い、
 高規格救急車への更新を目的とした**クラウドファン
 ディング**を実施することとなりました。

本車両は、病状が安定した患者さんの他院への
 転院搬送や高齢者施設で発生した傷病者の迎え搬送
 を中心に、地域の先生方との迅速かつ円滑な医療
 連携（厚生労働省が定めた地域医療構想）をさらに
 強化し、紹介・逆紹介の流れをより円滑にします。

また、大規模災害時にはDMAT隊員を乗せて
 被災地への災害援助に出動できる装備も搭載し、

地域医療を守る災害拠点病院としての役割も地域
 内外で発揮します。

当院は地域の安心を支えるため、救急医療を
 未来へつなぐためのさらなる挑戦を続けます。

皆さまのご理解とご協力を、よろしくお願い申し
 上げます。



4月中旬以降
 検索可能

洛和会音羽病院 救急車 クラウドファンディング

🔍 検索

入退院支援センター によるサポート

入退院支援センターでは入院前から退院後まで一貫したサポートを行っています。入院前は治療や入院生活に関する不安や疑問に丁寧に寄り添い、準備がスムーズに整うよう支援します。退院の際は、生活環境、社会資源、医療・介護サービスなどを考慮しつつ、多職種と連携し患者さん一人一人に最適なプランをご提案します。さらに、**PFM (Patient Flow Management: 患者中心の意思決定支援)**を導入し、患者さんへのより深い理解と、人生や価値観に寄り添った支援体制を強化しています。



退院後の訪問に行ってきます♪



患者さんが「自分らしく」療養・生活ができるよう、医療・看護の専門性を生かした包括的なサポートを提供しています。



入院する方へ

LINE で
ご案内をしています

洛和会音羽病院
公式アカウント



入院される方にご登録をお願いしています
QRコードをスマホのカメラで読み取ってください

※通信費に関しましては利用者さんのご負担となりますのでご了承ください

入院説明入院時の
持ち物リストなどを
スマホでいつでも
ご確認いただけます



巡回バスのルートが
伏見区醍醐エリア
まで拡大!

詳しくは
こちらから
お願いします



洛和会音羽病院 地域連携課

業務時間

月～金曜日：午前8時30分～午後8時
土曜日：午前8時30分～午後5時15分

連絡先

地域連携課直通
TEL 075 (593) 7725
FAX 075 (593) 4160
E-mail otowa@rakuwa.or.jp

ご意見・ご質問・ご要望などございましたらご連絡ください。

医療機関予約専用フリーダイヤル **0120 (607) 489**